

○ 指導室

1 学校における教育課程及び学習指導並びに専門的事項の指導に関すること

(1) 町内小中学校定例校長・教頭会議の対応（毎月1回及び臨時）

- ① 教育委員会からの連絡及び協議
- ② 今日的教育課題の資料の提示並びに指導の依頼
- ③ 各種調査・提出物等の依頼
- ④ 各種研修講座等への参加状況報告並び依頼
- ⑤ 教育関係年間行事予定の月ごとの微調整

(2) 学校教育訪問指導の推進

- ① 教育局義務教育指導監による経営指導訪問（全町立学校実施）
- ② 教育局指導班指導主事による要請訪問指導
- ③ 定期的な指導室長の訪問指導（各町立学校実施）

(3) 各種計画書作成の推進

- ① 教育課程編成届（白糠町立学校管理規則第34条・白糠町立幼稚園園則第7条の規定）
- ② 学校経営計画書

(4) 関係機関・団体との連携による推進事項

- ① 白糠町教育研究所
 - (a) 5月集会、2月集会への対応
 - (b) 所員会議における助言
- ② 生徒指導研究協議会
 - (a) 今日の課題にかかわる指導の対応
 - (b) 講演、研究協議への参加
 - (c) 管内生徒指導連絡研究協議会への対応
 - (d) 白糠町子ども会議の運営指導・補助
- ③ 進路指導協議会
- ④ 教育相談
 - (a) いじめ、不登校など心の教育相談への対応
 - (b) 育成センター青少年育成指導員との情報・意見交換
 - (c) 相談窓口のPR

相談窓口

☆白糠町教育委員会（指導室）	2－2 1 7 1	（内線 2 6 6	浅田）
☆青少年育成センター	2－3 3 7 7	（専用電話	片山）
☆やまびこ児童館	2－2 0 8 1		
☆ふれあい児童館	5－4 0 0 6		
☆白糠町子育て支援センター	2－2 1 5 5	（何でも子ども相談室）	
☆白糠町子ども発達支援センター	2－2 2 2 8		
◆相談時間：月曜日～金曜日（9:00～17:00）			

⑤ 幼小中高の連携、小中一貫教育の推進

- (a) 学校教育、家庭教育、青少年の健全育成、ふるさと教育、環境教育、ボランティア活動等を通じた地域の教育力の向上

- (b) 開かれた学校の交流、連携
- (c) 幼小・小中・中高各学校間の計画的、継続的交流の推進
 - ・白糠地域の主な連携内容
 - …行事を通しての児童生徒間交流・合同研修の実施（公開研）・後期課程教員による乗り入れ授業の実施・教職員交流・保護者交流
 - ・庶路地域の主な連携内容
 - …行事を通しての児童生徒間交流・合同研修の実施・後期課程教員による乗り入れ授業の実施・教職員交流・保護者交流
 - ・茶路地域の主な連携内容
 - …中学校教員による単元担任制での乗り入れ授業・教職員交流・合同研修・小中各種行事交流

2 教職員等の研修に関すること

(1) 研修講座等への参加奨励

- ① 北海道立教育研究所の各種研修講座
- ② 北海道立理科センターの各種研修講座
- ③ 北海道立特別支援教育研究センターの研修講座
- ④ 釧路教育研究所講座、釧路教育研究センター研修講座・講演
- ⑤ 町教育研究所研修事業、国立・市町村立学校指定研究会
- ⑥ 北海道教育委員会、教育局主催の各種研究協議会・研修会・講座・講習等
- ⑦ 町教育委員会主催研修事業、町教育委員会指定校発表会、町研協力校発表会、町研究協議会主催講演、P T A主催事業等

(2) 町教育研究所研究指定

- ・1年次…庶路学園
- ・2年次…茶路小中学校

3 外国語指導、国際交流活動

(1) 外国語指導助手（中国語）「ワン・ケリ」中国国籍

外国語指導助手（英語）「ケチャム・ジャクリーン・クレア」アメリカ国籍

外国語指導助手（英語）「ボーダリオ・ジェシー・ニコール」アメリカ国籍

外国語指導助手（英語）「コルベット・マシュウ・ジェイムズ」アメリカ国籍

外国語指導助手（英語）「ポピエルク・マリア・ルドウィッカ」アメリカ国籍

外国語指導助手（英語）「ロメロ・マリア・グアダルーペ」アメリカ国籍

外国語指導助手（英語）「バースロング・ブランドン・アレン」アメリカ国籍

（いずれもJ E T事業の活用による）

(2) 任用 ワン : 令和5年4月～令和6年4月

W. マシュウ : 令和3年7月～令和6年7月

ジャクリーン : 令和4年7月～令和6年7月

ジェシー : 令和4年8月～令和6年7月

C. マシュウ : 令和5年7月～令和6年7月

P. マリア : 令和6年7月～

R. マリア : 令和6年7月～

ブランドン : 令和6年8月～

(3) 令和6年度活動状況

- ワン ～町立学校におけるＥＣタイムを週４・５日及び白糠こども園・
 庶路こども園での中国語に親しむ活動を２週間で１日。
- Ｃ．マシユー ～白糠学園での外国語活動と英語科の授業を週２日ずつ、白糠子
 Ｒ．マリア こども園等での英語に親しむ活動を週１日。また、白糠高等学校
 での英語の授業を週１日。
- ジェシー ～庶路学園での外国語活動と英語科の授業を週２日ずつ、庶路こ
 ブランドン ども園等での英語に親しむ活動を週１日。また、白糠高等学校
 での英語の授業を週１日。
- ジャクリーン ～茶路小中学校での外国語活動と英語科の授業を週２日ずつ。ま
 Ｐ．マリア た、こども園等での英語に親しむ活動を週１日。白糠高等学校
 での英語の授業を週１日。
- ※この他、社会教育課所管の町民対象の中国語教室や英会話教室、ＥＣクラブ
 （放課後英会話教室）、ＥＣレクリエーションを実施するなど、各種地域行
 事にも参加した。

(4) 国際交流活動

- ・ＥＣレクリエーション
 実施日：令和７年１月１４日（火） 場所：白糠学園 参加：児童生徒７名
- ・白糠町青少年海外研修
 研修期間：令和７年１月９日（木）～１５日（水）
 視察先：インドネシア バリ島
 参加生徒：町内中学生６名、白糠高等学校生徒２名 計８名
 ※（保護者・生徒対象）事前説明会１回
 ※（生徒対象）事前研修４回、事後研修２回実施

４ ふるさと教育に関すること

(1) 学校におけるふるさと教育活動の実践

学 校 名	主 な 実 践 内 容
白糠学園	【前期課程】 １年生（生活）「身近な人々、地域の場所」 「白学ランドへようこそ」（１、２年生で実施） 「アイヌ文化出前講座」 ２年生（生活）「身近な人々、地域の場所」 「白学ランドへようこそ」（１、２年生で実施） 「アイヌ文化出前講座」 ３年生（総合）「しらぬか大すき」～白糠町の自然をさぐる 「アイヌ文化出前講座」 ４年生（総合）「しらぬか大すき」～白糠町の歴史をさぐる 「アイヌ文化出前講座」 ５年生（総合）「しらぬか大すき」～白糠町の食をさぐる 白糠町の食の魅力を発信する 「アイヌ文化出前講座」 ６年生（総合）「白糠みんなの仕事」～白糠町の産業をさぐる 「アイヌ文化出前講座」 【後期課程】 ・キャリア教育（総合） ７年：職業体験（白糠）及び発表 ８年：職業体験（釧路）及び発表 ９年：「３つの未来を考える～白糠・私・私たち～」 ・自然の番人宣言ポスター作成（美術）

学 校 名	主 な 実 践 内 容
庶路学園	1年生（生活科）「きせつとなかよし ふゆ」～西庶路凧揚げ同好会による凧作り、凧揚げ体験 2年生（生活科）「作って、ためして」～西庶路凧揚げ同好会による凧作り、凧揚げ体験 3年生（総合）「白糠の環境」庶路川を中心に（石炭・生物、川に関わる人） 4年生（総合）「白糠の食」特産品、ふるさと給食、食に関わる人、アイヌ文化講座 5年生（総合）「白糠町のPR」白糠の自然産業、一次産業、三次産業、アイヌ文化講座 6年生（総合）「職業調べ」職業調べ、アイヌ文化講座 7年生（総合）「わたしたちの防災」避難所運営、防災宿泊学習 8年生（総合）「卒業論文プレ発表」 9年生（総合）「卒業論文発表」 ※8・9年生の2年間でふるさとを見つめ、発信、貢献、広める 全学年（学園祭）「西庶路音頭振興会の協力による西庶路音頭の体験」
茶路 小中学校	小学3・4年生（総合）「マカヨわくわく調査隊」 アイヌ文化に関わる探究活動（施設見学・出前講座） 小学5・6年生（総合）「茶路PR大作戦」 茶路地区の魅力（自然・産業・歴史）についての探究活動・リーフレット作り 中学1年生（総合） 「白糠町＋1計画」町の施策のPR・人口増につながる手立て 中学2・3年生（総合） 「白糠町の産業の活性化に向けて」町の産業・活性化に向けた手立て

(2) ふるさと参観日の実施

白糠町の「ふるさと教育」の一環として、町内の小・中学校、白糠高等学校の子どもたちの学習や活動等を広く町民の皆様にご覧いただくため「ふるさと参観日」を開催した。		
○白糠学園	11月9日（土）	全学年公開授業 （ふるさと学習発表会、アイヌ文化学習出前講座、ECタイム）
○茶路小中学校	11月9日（土）	全学年（ふるさと学習の発表会）
○庶路学園	10月19日（土）	学園祭の公開
○白糠高等学校	11月18日（月）～22日（金）	全学年の授業公開（授業公開週間）

5 負担金・補助等及び交付金に関すること

（単位：円）

負担金・補助等	交付先	交付金
ふるさと教育学習活動推進協議会補助金	白糠町ふるさと教育学習活動推進協議会	736,034
白糠高等学校教育振興協議会補助金	北海道白糠高等学校教育振興協議会	6,063,930
北海道教育研究所連盟負担金	北海道教育研究所連盟	7,100
町教職員研究事業推進委員会補助金	白糠町教職員研究事業推進委員会	1,299,955
語学力・基礎学力のびのび推進協議会補助金	白糠町語学力・基礎学力のびのび推進協議会	235,708
自治体国際化協会負担金	（財）自治体国際化協会	1,382,823

6 学力調査に関すること

(1) 全国学力・学習状況調査

【調査概要】

① 調査の目的

- (a) 国が、全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力・学習状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (b) 各教育委員会、学校等が全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (c) 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。

② 調査の内容

(a) 教科に関する調査

＜小学校第6学年＞ 国語、算数

＜中学校第3学年＞ 国語、数学

- ・身に付けておかなければ、後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容
- ・実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など
- ・知識・技能等を実生活において様々な場面に活用する力
- ・様々な課題解決のための構想を立て、実践し、評価・改善する力 など

(b) 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

- ・児童生徒に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面
- ・学校に対する調査
指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件等に関する調査の整備の状況、など

③ 調査日

令和6年4月～5月

④ 調査を実施した白糠町の学校・児童生徒数

【小学校調査】 町内3小学校の6年生 計29名

【中学校調査】 町内3中学校の3年生 計47名

⑤ 教科に関する調査について

- (a) 小学校6年生、中学校3年生ともに全教科、全国及び全道平均を下回った。
- (b) 教科ごとの結果は以下のとおり

小学校国語

※「①我が国の言語文化に関する事項」の回答率が高い。

※「③記述式」の回答率が98.8と全国と比較してあまり差が開いていない。

⇒継続して取り組む必要がある。

※「①言葉の特徴や使い方に関する事項」の回答率が全国と比較して差が10ポイント以上、「①話すこと・聞くこと」「①書くこと」は10ポイント近くある。

⇒当該学年の学習内容の定着に向け、補的な学習を充実する必要がある。

⇒年間指導計画の改善や他の教科等との関連した学習の授業改善等について検討する必要がある。

小学校算数

- ※「①数と計算」の回答率が全道以上である。
- ※「③記述式」の回答率が92.9と全国と比較して差が開いている。
⇒重点的に取り組む必要がある。
- ※「①変化と関係」の回答率が全国と比較して差が10ポイント以上ある。
⇒当該学年の学習内容の定着に向け、補充的な学習を充実する必要がある。
⇒年間指導計画の改善や他の教科等との関連した学習の授業改善等について検討する必要がある。

中学校国語

- ※「③記述式」の回答率が65.5と全国と比較して差が大きく開いている。
⇒重点的に取り組む必要がある。
- ※「①言葉の特徴や使い方に関する事項」、「①書くこと」、「①読むこと」、「思考・判断・表現」の回答率が全国と比較して差が10ポイント以上ある。
⇒当該学年の学習内容の定着に向け、補充的な学習を充実する必要がある。
⇒年間指導計画の改善や他の教科等との関連した学習の授業改善等について検討する必要がある。

中学校数学

- ※「③記述式」の回答率が77.1と全国と比較して差が大きく開いている。
⇒重点的に取り組む必要がある。
- ※「①数と計算」、「①図形」、「②思考・判断・表現」の回答率が全国と比較して差が10ポイント以上ある。
⇒当該学年の学習内容の定着に向け、補充的な学習を充実する必要がある。
⇒年間指導計画の改善や他の教科等との関連した学習の授業改善等について検討する必要がある。

⑥ 質問調査について

- ・中学校国語・数学において、「好き」という回答する生徒の割合が総じて高い。小学校は国語、算数ともに「好き」と回答する児童が全国を下回った。
- ・「先生は授業やテストで間違えたところや理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思うか」という項目では小中ともに全国を上回った。教員が丁寧に指導にあたっていることがうかがえるが、一方で「自分でまなび方を考え、工夫する」という項目は低いことから、児童生徒自身で考えさせる授業を一層工夫する必要がある。
- ・「将来への夢や目標をもっている」「いじめはどんな理由があってもいけない」と回答する児童生徒の割合が全国以上である。
- ・「学校に行くのが楽しい」「幸せな気持ちになる」と回答する生徒の割合が全国以上であった。
- ・小学生は総じて肯定率が低い結果となった。

(2) 町標準学力調査

① 目的

標準学力調査を実施し、本町児童生徒の学力状況を把握するとともに、その後の学習指導に役立てることを目的とする。特に、個人及び同一集団の成績の経年変化を見取ることにより、学校改善プランの見直しを図り、児童生徒の確かな学力の向上を目指す。

② 実施内容

- ・小学校 ～ 東京書籍 標準学力調査（C R T）による
- ・中学校 ～ 東京書籍 標準学力調査（C R T）による
- ・本年度の学力の達成状況をより適正に確認し、正確な評価（指導要録の記入）につなげる。

- ・特に次年度の学年の取り組みに向け、課題を把握し、検査結果をより有効に学習指導に役立てるものとする。
- ③ 実施時期
令和6年12月（3学期実施版使用）
- ④ 実施学年、教科
- 小学校 第1～2学年・・・2教科（国語、算数）
第3～4学年・・・4教科（国語、算数、社会、理科）
第5～6学年・・・5教科（国語、算数、社会、理科、英語）
 - 中学校 第1～3学年・・・5教科（国語、数学、社会、理科、英語）
 - 全学年において、i-check を実施
- ⑤ まとめと方策
- ・小学校4年生が全教科総合の平均が目標値に達したものの、その他の学年は、目標値を下回った。
 - ・小学校5年生と6年生は、昨年度から伸びが見られた。
 - ・基礎問題と活用問題の正答率を比較すると、小学校5年生までは基礎問題の正答率が高く、小学校6年生以上は活用問題の正答率が高い傾向が見られた。学年が上がるにつれて学習したことをつなげ、自分で考えて回答しており、望ましい傾向がうかがえた。
 - ・多くの学年で「テストで間違えた問題のやり直しをしない」と回答した児童生徒が高い割合であり、課題が見られたため、改善する必要がある。
 - ・9学年中6つの学年が「将来の夢や目標がある」と回答した児童生徒の割合が全国と比べて高く、望ましい傾向であった。
 - ・小学校4年生と中学校2年生を除く学年で「平日3時間以上、動画を見たり、ゲームをしたりする」と回答した児童生徒の割合が全国と比べて高く、放課後の過ごし方を見直す必要がある。また、小1、小5を除く7つの学年は「朝食を毎日食べる、だいたい食べる」という児童生徒が全国と比べて少ない状況であり、比引き続き、情報端末機器を使用する時間の家庭のルールの見直しなど、規則正しい生活リズムの確立に向けて啓発を図る必要がある。